

2021年8月5日

公益財団法人日本テニス協会

第一生命保険株式会社と相互共創協定を締結

～【国内初】全仏オープン会場と同仕様に屋外型テニスコートをレッドクレー化～

公益財団法人日本テニス協会(以下、「JTA」)は2021年8月5日、第一生命相樂園テニスコートのレッドクレー化を通じて、相互に協力が可能な分野における連携を推進するため、第一生命保険株式会社(以下、「第一生命」)との間で相互共創協定を締結しました。

第一生命は、JTAが主催する「全国小学生テニス選手権大会」へ1983年の第1回大会より特別協賛するとともに、同社所有の第一生命相樂園テニスコートを大会会場として提供しています。同社は、健康増進、地域活性化、子ども・教育、スポーツ振興、高齢者支援、安全・防災、環境配慮などを通じた地域住民のQOL向上をコンセプトに、創業120年に当たる2022年度のまちびらきに向け、第一生命グラウンド(東京都世田谷区)を活用したまちづくりを進め、2022年3月稼働を目途に、第一生命相樂園テニスコートを、屋外型として国内初の全仏オープン会場ローランギャロス仕様へのレッドクレー化を行うことと致しました。

JTAと第一生命は、本協定を通じて、同社テニスコートのレッドクレー化を起点とした相互連携を更に深化させながら、次世代テニス選手の強化・育成や第一生命全国小学生テニス選手権大会の更なるブランド化に向けた取組み、さらには地域の皆さま方のQOL向上に貢献してまいります。

この度の協定により、JTAは選手強化拠点としての味の素ナショナルトレーニングセンターに加え、普及・育成・強化の新たな活動拠点を確保することとなります。またこの協定は、JTAがフランステニス連盟との間で締結している協力覚書で謳われている国内におけるレッドクレー化施策の具体化事業としての側面も持っています。第一生命相樂園テニスコートの全仏オープン会場ローランギャロス仕様のレッドクレー化により、世界で活躍する次世代のテニス選手の強化/育成拠点としてのジュニア選手のトレーニングセンターやナショナルチーム関連メンバーの強化拠点として活用します。また両者は、第一生命相樂園テニスコートにおいて「TENNIS PLAY&STAY(※1)」や「テニピン(※2)」等の初心者向け(親子参加型や健康増進を目的としたシニア向け含む)のテニスイベント、クリニック等を共同開催し、地域住民のQOL向上とテニスの更なる普及に向けて共創してまいります(協議・検討中のものを含む)。

(※1) TENNIS PLAY&STAY

通常よりも速度の遅いボール、短いラケット、小さいコートを使用することで誰でも簡単にラリーをすることができ、ラケットを持ったその日からテニスを楽しむことができるプログラム

(※2) テニピン

ハンドラケットを使用した「TENNIS PLAY&STAY」の子ども向けプログラム